

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1	馬路町自治会	市道池尻宇津根線拡幅改修工事（馬路地内）に係る生活環境整備について	<p>① グリーンベルト地帯の整備内容とその後の管理（委託経費等）の考えは。 市道池尻宇津根線の改良にあたり、府道宮前千歳線の接道箇所については道路位置の変更等に伴い、残地部分が生じます。この部分については単純に歩道空間として整備することも選択肢として考えられますが、市道池尻宇津根線が馬路町の玄関口としても機能することを考慮すると、それにふさわしい道路づくりも視野に入れているところです。 具体的には、来訪者もまた地元の方にも憩いが得られるような空間に残地部を緑地整備することを考えているところです。整備方法等については、後の管理方法も含めて地元自治会とも協議させていただき、有効な活用となるよう進めていきたいと考えます。</p> <p>② 七谷川改修工事に係る工事車両の通過について 市道池尻宇津根線の改良工事と並行して現在京都府において七谷川改修工事が実施されているところですが、七谷川改修工事についても天井川の解消という重要な目的をもった工事であり、市としては河川の改修が早急に進められるよう協力、調整したいと考えております。提案の河川工事に係る仮設道路設置についても和らぎの道延伸等の計画はあるものの、時間を要することから、周辺集落への影響を最小限にとどめることを考えつつ、両方の工事が円滑に進められるよう京都府とも調整しながら工事実施を図ってまいりたいと考えます。</p> <p>③ 信号機の設置について 府道宮前千歳線と市道池尻宇津根線の交差点箇所については、警察との協議の結果、今回の道路整備は現道拡幅や歩道整備であり、大きく交通事情が変わらないことから、整備完了後についても現在と同じ一旦停止による交通規制によって運用していくこととなります。 ただし、今後、宇津根橋架け替えや池尻宇津根線全線道路整備完了等により大きく交通事情が変化した折には、再度警察とも協議しながら必要な安全対策を講じてまいりたいと考えます。</p>	まちづくり推進部事業担当部長	①:②実施予定 ②:⑥その他 ③:⑤困難	文書回答のとおりです。

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
2	馬路町自治会	市道池尻・宇津根線拡幅改修工事について ③信号機の設置	<p>【基本的な考え方】 信号機の設置については、京都府公安委員会の所管となります。亀岡警察署に確認しましたところ、交通事故の発生状況等のデータ分析、現場の立地環境（既存信号からの距離、信号機設置スペース等）や交差点改良の必要性、また周辺住民の皆さんとの協議や調整等を踏まえ、設置の可否を判断されると聞いております。</p> <p>今後についても、セーフコミュニティの理念に基づく安全・安心のまちづくりは市政の根幹であり、亀岡警察署など関係機関との連携のもと、交通安全対策を展開していきたいと考えています。</p> <p>【今後の対策】 地域住民の皆さん、道路管理者や亀岡警察署等の関係機関との協議・調整を図りながら、効果的かつ実施可能な交通安全対策を行っていきたくて考えております。</p> <p>信号機の設置等の交通安全施設に関しましては、次回の府民協働型インフラ保全事業の要望として地元から提出していただければ、本市としても実施されるよう強く働きかけてまいりたいと考えております。</p> <p>今後も、セーフコミュニティ認証都市として、関係機関等との連携の中、運転者に正しい交通ルールやマナーについて啓発活動等を通して周知するとともに、交通事故を未然に防ぐための対策を行い、安全・安心なまちづくりに努めてまいります。</p>	総務部長	⑥その他	文書回答のとおりです
3	馬路町自治会	府内第1号(唯一)である公立義務教育学校「亀岡川東学園」に関わって ①通学可能校区を市内一円とする制度設計とそのことに伴う通学希望者を把握するとともに、校舎増築を行う。	<p>現在、亀岡市では3校において、小規模特認校制度を実施しており、特に希望する場合に一定の条件のもと、通学区域外からの通学を認めています。これは複式学級の解消を主な目的として実施しているところですが、亀岡川東学園については、各学年1～2学級を維持していることから、現時点で小規模特認校制度の導入は考えておりません。また現在、各学校区において、学校規模適正化を順次進めているところですが、学校間での児童生徒数の偏りがないよう全体のバランスをとりつつ、進めていく必要があると考えています。亀岡川東学園については、今後の児童生徒数の推移に注視しながら、現在の規模を維持できるよう進めて参りたいと考えています。</p>	教育部長	⑥その他	文書回答の内容のとおりです。

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
4	馬路町自治会	府内第1号(唯一)である公立義務教育学校「亀岡川東学園」に関わって ②川東保育所卒園生が約3割あることから、その卒園生が亀岡川東学園を希望した場合に入学できる制度設計の検討。	現在、学校規模適正化を進めているところであり、複式学級の解消を最優先に、児童生徒数の偏りなど全体のバランスをとりながら、今後の児童生徒数の動向を踏まえ、進めて参ります。	教育部長	⑥その他	文書回答の内容のとおりです。
5	馬路町自治会	府内第1号(唯一)である公立義務教育学校「亀岡川東学園」に関わって について ②※その場合には、川東保育所の移転改築を亀岡川東学園に隣接して建設。「認定こども園」としての開設を検討。(要望書提出済み) ③ 旧川東保育所用地と現自治会管理用地(自治会購入用地は行政負担)との等価交換による用地確保、及び現校舎敷地東側農地の買収による用地確保が必要。※用地確保に要する経費は比較的軽微。	川東保育所の改築については、これまで懇談事項等にあげていただいた地域の皆様の声とともに、老朽化の状況や耐震診断の状況から、検討が必要な事項であると考えております。 現在、本市の公立保育所については、多くの施設で老朽化が進んでおり、亀岡市全域の児童数の状況や保育ニーズを踏まえた上で、計画的な施設整備に取り組まなければならない状況にあります。 川東保育所においては、昨年度に実施したエアコン更新工事など、園児らが快適かつ安全で安心に保育を受けられる環境の維持に努めながら、施設全体の整備についても検討を進めてまいります。今後も将来的なまちづくりの視点からも引き続き地元の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。	こども未来部長	③検討	現在、亀岡市の公立保育所・こども園においては、多くの施設で老朽化が進んでおり、市内全体の状況を踏まえ、対応をしなければならない状況となっております。 そのため、川東保育所においても、将来に向けてより良い保育環境を整備するため、ご意見やご理解をいただきながら検討をしていきたいと考えています。
6	馬路町自治会	府内第1号(唯一)である公立義務教育学校「亀岡川東学園」に関わって ③旧川東保育所用地と現自治会管理用地(自治会購入用地は行政負担)との等価交換による用地確保、及び現校舎敷地東側農地の買収による用地確保が必要。※用地確保に要する経費は比較的軽微。	現在、亀岡川東学園においては小規模特認校制度等の導入を考えておらず、各学校のバランスをとりつつ学校規模適正化を順次進めており、亀岡川東学園については今後も現在の規模を維持できるよう考えていることから、新たな校舎建設や学校用地の確保は考えていないところです。	教育部長	⑤困難	文書回答の内容のとおりです。

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
7	馬路町自治会	<p>市道池尻・宇津根線（府道と市道が交差する池尻交差点から亀岡川東学園市道横断ゲート間）の道路および側面排水路の全面改修工事について</p> <p>① 道路面のかさ上げに伴い、側面排水路の圍場側が低く、また、擁壁の破損やコンクリートの劣化等により、大雨があるたびに圍場側や民家への浸水がある。また、用排水路内に泥上げ作業が困難なほどの段差があり、ゴミや泥が堆積している。</p> <p>市道地下部分には、下水道管や水道管、NTT管が埋設されているが、東側約100mにある余水吐け水路に当該用排水路を分岐することにより、馬路町内の水害対策を大幅に改善されることが出来る。</p> <p>② 市道改修と合わせた側面排水路の改修工事が容易でないとするなら、現在、(有)人見建築前から余水吐け水路への排水路に向けて、流入口にカットを入れることで、流入量を増やす応急的な手当てを講じているが、現在の流入口を2～3倍に拡げる工法で、当該用排水路の水をかなり放出できれば、懸念事項の解消に繋がる事が期待できるのではないか。</p>	<p>農業水路等の整備を行う場合、農林水産省による農業農村整備事業の農業水路等長寿命化・防災減災事業がありますが、この事業により用排水路整備を行う場合は、周辺地域全体の用排水路をすべて対象にして事業化調査を行うこととなり、その調査結果により大規模な整備、費用が必要となることが想定されます。</p> <p>また、今回要望の市道横断水路につきましては、排水路であり用水としての機能はありませんので、今回ご要望の市道横断水路のみの整備では、この事業の対象となりません。</p> <p>上記の事業を用い、地域全体の用排水路整備の事業化を検討される場合につきましては、用水路管理者の地元土地改良区と協議調整いただきますようお願い致します。</p>	産業観光部長	⑥その他	文書回答のとおりです
8	馬路町自治会	市道池尻宇津根線（池尻交差点から亀岡川東学園市道横断ゲート間）の道路および側面排水路の全面改修工事について	市道池尻宇津根線の川東学園以北、池尻交差点間の整備については、ガードレール設置による歩車分離もなされており、おおむね安全対策も実施済であることから、現在のところ道路整備が必要という判断には至っていないところです。ただ、今後水路改修などの議論と合わせて、道路整備等を考えていくことについては地元の意見、要望等も聞き、必要に応じて検討してまいりたいと考えます。ただし、市道池尻宇津根線については、まず現在事業実施中である府道宮前千歳線以南の道路改良工事を最優先に取り組み、早期の事業完成を目指し取り組んでまいりたいと考えます。	まちづくり推進部事業担当部長	⑥その他	文書回答のとおりです。

## R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
9	馬路町 自治会	馬路町の農業農村環境を保全・発展 させる組織再編について	<p>馬路町におきましては、従来から馬路町営農組合と馬路町農作業受託組合を中心に、町内全域でまとまりをもった形で営農を展開していただいております。</p> <p>現在計画いただいております、営農組合を社団法人化し農地中間管理事業により町内の農地を集積し、集積した農地を農作業受委託により担い手が利活用を図る方式は、他県では事例もあり、今後の農業農村を保全・発展させるうえで非常に有効な方式であると考えておりますが、京都府下にはまだ例がありません。また、地域の中心的な担い手である農作業受託組合を法人化することは、今後の農業用機械の更新費用の積立等を考慮すると非常に重要なポイントの1つであると考えます。</p> <p>つきましては、一般社団法人京都府農業会議とも連携しながら、それぞれの法人化に向けた取り組みを支援していきたいと考えております。</p> <p>また、組織再編を進めることにより、農地中間管理事業における地域集積協力金を受けられることから、地元との連絡を密にさせていただき、集積予定面積や集積予定時期の確認等必要な措置を講じてまいります。</p>	産業観光部 長	⑥その他	文書回答のとおりです。

## R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
10	馬路町自治会	<p>(1)「霧の芸術祭」「千代川新乗船場・舟運記念館等の公園整備」それぞれの事業を全市民的な関心事にしていくためには、この両者を点と線と面で結びつけることが出来る「丹波ニュー風土記の里整備構想」の具現化への取り組みと連携した動きが必要不可欠であると考えが。</p> <p>(2)文化庁が亀岡市の文化財で最大の評価をしているのが史跡丹波国分寺跡であり、その保全と活用について、上田正昭先生を座長に提案してもらったのが本構想である。一度は市政施策の最重要課題と位置付けられたその重みが、まったく認識(理解)されていないように思われるが、市の見解を問う。</p> <p>(3)昨年作成された史跡丹波国分寺跡整備計画の進捗状況はどうなっているのか。この構想を全市民的な関心ごととしていく有力な手法として、国分寺跡の有効活用(観光客に対する駐車場)の提案に対し、文化庁・京都府への接触を図ってもらったのか。地元から直接要望させてもらってもいいのか。</p>	<p>平成元年の「丹波NEW風土記の里」構想の策定から30年余りの年月が経過しており、文化庁からも、事業進捗の遅れと社会的環境のさらなる変化をうけて計画の抜本的な見直しが指示されたところであります。これをうけて亀岡市では、平成29年度に「改訂版整備基本計画」を策定し、30年度に「整備基本設計」を策定しました。「丹波NEW風土記の里」構想を見直し、改訂版整備基本計画に基づき整備を進めていくことはすでに、令和元年度の丹波ニュー風土記の里整備構想促進協議会(中澤 基行会長)総会場で報告させていただいたところです。令和元年度から今年7月にかけては、経蔵跡の実施設計書を策定し整備工事を実施いたしました。</p> <p>なお、文化庁は文化財保護法の改正(平成31年4月1日改正法施行)に伴い、文化財の「活用」を重視するとともに、各市町に「地域文化財保存活用計画」の策定を求めています。亀岡市では、各町の特性を分析したうえで、各町がそれぞれの文化財を活かせるような計画の策定を目指して今年度より国庫補助金を受けて進めております。</p> <p>丹波国分寺跡についても先の「丹波NEW風土記の里」構想も参考にしながら、この計画の中に位置付け、駐車場の整備を含めた活用施策を、地域の皆さまと一緒に検討していきたいと考えています。</p>	教育部長	③検討	文書回答の内容のとおりです。
11	馬路町自治会	<p>その他(各種団体からの個別な要望)</p> <p>(1)ジャンボタニシ駆除対策支援</p>	<p>近年、西日本を中心にジャンボタニシが大量に発生し水稲に食害を及ぼしており、亀岡市でも広範囲で生息と被害が確認されています。今年度は、昨年の暖冬の影響によりさらに大量発生し、大きな被害が出ている状況です。</p> <p>ジャンボタニシの防除としては、石灰窒素や農薬の散布、水田からの卵や貝の除去などいくつかの方法がありますが、いずれも個別の対策ではなく、地域ぐるみで総合的な対策が重要となっております。</p> <p>人件費や薬剤費等防除にかかる費用については、馬路町でも取り組んでいただいております多面的機能支払交付金が、事業計画への位置づけなど一定の要件を満たしていただくことで使用可能となっておりますので、農林振興課の担当に御相談ください。</p>	産業観光部長	⑥その他	文書回答のとおりです。

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
12	馬路町自治会	その他(各種団体からの個別な要望) (2)街路灯のLED化について	<p>「基本的な考え方」 京都府から管理委託を受けている府営馬路住宅は建築住宅課が所管しており、団地敷地内の防犯灯に不具合が発生した場合は随時、修繕を行っています。 ※三ツ辻一戸建住宅(=市営住宅)の管理敷地内には防犯灯はありません。 「今後の対応策」 府営馬路住宅の敷地内には13本の防犯灯があり、今後、不点灯等の不具合修繕が発生した場合に順次、LED灯具への交換を進めながら、全灯一括交換に向けて京都府へも予算要望をしていきたいと考えます。</p>	まちづくり推進部事業担当部長	⑥その他	文書回答のとおりです。
13	馬路町自治会	その他(各種団体からの個別な要望) (3)街路灯の再設置について	<p>市道月読橋八軒屋線の月読橋球技場前に設置されていた地元管理の街路灯につきましては、過去に市の制度を利用いただき、蛍光灯からLED化に改修していただいたところです。 亀岡市といたしましては、新規の公衆街路灯の設置や電気代及びLED化に対しては、助成させていただいておりますが、修理や再設置につきましては、地元にて対応いただきますようお願いいたします。</p>	まちづくり推進部事業担当部長	④要望	今年度内の全灯一括交換に向けて、京都府へ予算要望をしていきます。
14	馬路町自治会	川東学園に関わって 市内一円を校区とする制度設計の見直しの考えの有無を問う。	<p>ご要望の市内全域から通学する制度については、各校区での今後の児童生徒数の推移やそれぞれの地域の実情なども踏まえ検討する必要があると考えています。 また現在、亀岡市内の各校区において、学校規模適正化を進めており、児童生徒にとってよりよい教育環境の構築のため、複式学級の解消を最優先課題として進めているところです。市としましては、川東地域だけでなく、市域全体のバランスをとりつつ、各学校の児童生徒数が適正規模となるよう進めており、現在のところ、亀岡川東学園の児童生徒数は微増傾向にあり、安定した教育環境が維持できていると考えています。 このような状況の中、現時点でご要望の制度の導入は考えておりませんが、今後の児童生徒数の推移を見極めながら、また義務教育学校設立に至るまでの経緯や保護者の声を踏まえつつ、地域の皆様とともにより良い教育環境の整備に努めてまいります。</p>	教育部長	⑥その他	文書回答の内容のとおりです。

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
15	馬路町自治会	川東学園に関わって 川東保育所に通園する子どもたちが、川東学園への入学を希望した場合、その希望に沿えるような制度設計を求める。	上記で回答しましたとおり、現時点で校区外からの通学を認める制度設計は考えておりません。 引き続き、児童生徒数の推移に注視しながら、より良い教育環境の整備に努めてまいります。	教育部長	⑥その他	文書回答の内容のとおりです。
16	馬路町自治会	余水吐け水路への分岐工事について 農村地域防災減災事業の所管課(近畿農政局設計課事業調整室)の現地調査、説明を行って欲しい。	今回ご要望の水路改修につきましては、地域の豪雨等防災対策が目的となるため、農業水路等長寿命化・防災減災事業による事業化が検討できますが、事業採択にあたっては整備効果を検証されます。具体的には、当該水路に係る流域全体の流量計算を始め総合的な排水計画を策定する必要が生じ、流域内のその他の用排水路においても整備を求められることが想定されます。また、事業に係る費用についても、地元土地改良区等に一定の割合で負担いただくかなくてはなりませんので、事業規模が大きくなると費用面で事業化が困難になる可能性もあります。 そして、降雨時等において、分水ゲートの開閉操作により雨水流出調整ができる場合には、本事業の採択が非常に厳しいことも予想されます。 しかしながら、あらためて本事業の申請窓口である京都府南丹広域振興局地域づくり振興課と現場立会や協議を行い、具体的に事業化に向けた検討事項を確認するため、本市としても日程調整や協議につきましては協力させていただきたいと存じます。	産業観光部長	⑥その他	文書回答の通りです。
17	馬路町自治会	余水吐け水路への分岐工事について 国の補助事業が適用されない場合には、市の単独工事をお願いしたい。	当該箇所の横断水路のみを本市で単独事業として実施する場合は、市道敷の横断排水路のため、農業水路改修事業等による施工は困難であります。	産業観光部長	⑥その他	文書回答の通りです。